

業績等

(1) 経営成績

(単位：百万円)

	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
売上高	138,871	132,146	271,017	139,298	136,702	276,000
営業利益	46,146	38,135	84,281	39,569	32,431	72,000
経常利益	48,653	40,857	89,510	42,404	34,596	77,000
当期純利益	27,209	23,368	50,577	19,467	15,033	34,500

(2) 諸経費等

(単位：百万円)

	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
売上原価率	24.2%	25.8%	25.0%	24.5%	25.5%	25.0%
販管費	59,086	60,031	119,117	65,628	69,372	135,000
設備投資	3,070	3,001	6,071	5,584	14,416	20,000
減価償却	7,108	7,925	15,033	6,959	7,441	14,400
研究開発費	10,818	12,419	23,237	15,801	17,199	33,000
(売上比率)	7.8%	9.4%	8.6%	11.3%	12.6%	12.0%
広告宣伝費	10,649	8,985	19,634	9,629	10,371	20,000
販売促進費	9,241	9,608	18,849	10,104	10,396	20,500

(3) 事業別売上高

(単位：百万円)

部門	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
OTC等	99,037	92,539	191,576	99,893	97,107	197,000
家庭用品および公衆衛生用剤	2,492	1,501	3,993	1,239	1,261	2,500
その他	796	914	1,710	789	711	1,500
(セルフメディケーション小計)	102,325	94,954	197,279	101,921	99,079	201,000
医療用	29,746	29,368	59,114	29,612	29,288	58,900
その他	3,479	4,934	8,413	* 4,998	5,102	10,100
工業所有権等使用料収入	3,321	2,890	6,211	2,767	3,233	6,000
(医薬事業小計)	36,546	37,192	73,738	37,377	37,623	75,000
合計	138,871	132,146	271,017	139,298	136,702	276,000

* バイオペックス売り上げ含む

(4) OTC等主要製品売上高

(単位：百万円)

薬効群	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
1.ドリンク剤	57,395	48,077	105,472	62,198	51,302	113,500
リポビタミン シリーズ	53,043	44,206	97,249	58,211	47,289	105,500
・リポビタミンD	43,096	34,201	77,297	45,657	36,843	82,500
・その他リポビタ ン	9,947	10,005	19,952	12,554	10,446	23,000
ゼナシリー ズ	2,954	2,819	5,773	2,690	2,710	5,400
アルフェ その他	1,398	1,052	2,450	1,297	1,303	2,600
2.かぜ薬	10,531	17,208	27,739	10,267	17,533	27,800
3.胃腸薬	2,255	3,148	5,403	2,365	3,035	5,400
4.リアップ等	17,433	12,277	29,710	12,660	12,340	25,000
5.その他	11,423	11,829	23,252	12,403	12,897	25,300

リポビタミンD チャンネル別売上高

(単位：百万円)

	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
既存チャンネル	31,413	21,903	53,316	29,614	21,386	51,000
新チャンネル	11,683	12,298	23,981	16,043	15,457	31,500
計	43,096	34,201	77,297	45,657	36,843	82,500

(5) 医療用主要製品売上高

(単位：億円)

製品名	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
1.クラリス	104	126	230	106	130	236
2.パルクス注	109	91	200	104	90	194
3.ソロン	21	19	40	20	17	37
4.メトリジン	14	13	27	14	11	25
5.リーマス	12	11	23	12	12	24
6.リソキサ-	8	8	16	9	6	15
7.ヒカロンデ [®] イホ [®]	6	5	11	6	4	10
8.アルボ	5	5	10	5	4	9
9.パन्दル	5	4	9	5	4	9
10.メルクア [®] ターゼ	4	4	8	4	4	8
11.アンカロン	6	6	12	9	8	17
12.バ [®] イホ [®] ックス	-	-	-	13	3	16
13.その他	3	2	5	2	3	5

(6)薬効別売上高

(単位：百万円)

薬効別	11年上期	11年下期	11年度	12年上期
	実績	実績	実績	実績
神経系薬剤	15,821	22,135	37,956	15,849
循環器・ 消化器系薬剤	20,080	19,583	39,663	20,142
滋養強壯剤	58,066	48,801	106,867	62,776
代謝性薬剤	621	508	1,129	583
抗生物質製剤	10,424	12,578	23,002	10,571
外皮に作用 する薬剤	23,771	18,302	42,073	19,584
家庭用品 および 公衆衛生用剤	2,492	1,501	3,993	1,239
その他	4,248	5,806	10,054	5,758
工業所有権等 使用料収益	3,348	2,932	6,280	2,796
合計	138,871	132,146	271,017	139,298

(7)設備投資の内訳

(単位：百万円)

	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
大宮工場	1,167	1,986	3,153	816	5,484	6,300
羽生工場	16	33	49	16	84	100
岡山工場	64	40	104	3,403	4,197	7,600
総合研究所	675	528	1,203	698	1,802	2,500
その他	1,148	414	1,562	651	2,849	3,500
合計	3,070	3,001	6,071	5,584	14,416	20,000

(8)売掛金滞留期間等

(単位：百万円)

	11年上期	11年下期	12年上期
	実績	実績	実績
売掛金滞留期間	3.0ヶ月	2.6ヶ月	3.2ヶ月
売上債権滞留 期間	3.2ヶ月	2.8ヶ月	3.5ヶ月
流動比率	468.5%	564.1%	373.4%

(9)金融収支

(単位：百万円)

	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
合計	1,775	1,996	3,771	2,024	1,876	3,900

(10)工業所有権等使用料収入

(単位：百万円)

	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
合計	3,348	2,933	6,281	2,796	3,204	6,000

(11)外国人持株比率

(単位：%)

	11年上期	11年下期	12年上期
	実績	実績	実績
合計	10.3	10.4	10.1

(12)輸出比率

(単位：%)

	11年上期	11年下期	11年度	12年上期	12年下期	12年度
	実績	実績	実績	実績	予想	予想
合計	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4

(13)従業員数

(単位：人)

	11年9月末	11年3月末	12年9月末
	実績	実績	実績
合計	4,721	4,659	4,674

・中間期実績及び通期見込の概説

(1)中間期実績の解説

(単位:百万円)

項目	対前年同期比	増減事由
売上高	+427	(.業績等(3)事業別売上高参照)
営業利益	6,577	販売費及び一般管理費 65,628(+ 6,542) うち研究開発費 15,801(+ 4,982) 販売促進費 10,104(+ 863) 広告宣伝費 9,629(1,019)
経常利益	6,249	金融収支 2,024(+ 249)
中間純利益	15,847	退職給付会計基準変更時差異 + 8,630 (特別損失)

(2)通期業績見込み

(単位:百万円)

項目	対前期比	増減の内訳予測
売上高	+4,983	(.業績等(3)事業別売上高参照)
営業利益	12,281	販売費及び一般管理費 135,000(+15,883) うち研究開発費 33,000(+ 9,763) 販売促進費 20,500(+ 1,651) 広告宣伝費 20,000(+ 366)
経常利益	12,510	金融収支 3,900(+ 129)
当期純利益	16,077	退職給付会計基準変更時差異 + 17,261 (特別損失)

. 貸借対照表の概説

(単位：百万円)

	対前年同期比	増減事由
資産の部	+63,371	
1.流動資産	79,956	売掛金 +5,860 有価証券 107,620 ・有価証券の定義が変更されたことに伴う 投資有価証券等への振替 129,637 ・有価証券の取得 + 22,003 繰延税金資産 +5,694 その他 +15,245 ・有価証券から振替の抵当証券 +15,000
2.固定資産	+ 143,327	有形固定資産 2,467 無形固定資産 2,668 ・商標権、営業権の償却 2,284 投資有価証券 +147,762 ・有価証券からの振替 +114,637 ・投資有価証券評価益 +31,259
負債の部	15,174	
1.流動負債	3,913	支払手形 +877 買掛金 +425 未払法人税 7,250 その他 +2,174 (うち設備関係未払金 +2,067)
2.固定負債	+ 19,087	退職給付引当金残高 30,074 前年同期末退職 給与引当金残高 21,156 = +8,918 繰延税金負債 +9,939
資本の部	+48,197	任意積立金 +45,241 中間未処分利益 15,847 その他有価証券評価差額金 +18,803

開発状況一覧

ステージ	開発番号/一般名/製品名	薬効/申請時期	自社・共同開発	製品特長他
承認	クラリス	ヘリコバクター・ピロリ除菌 (99年2月申請 00年9/22承認 00年11/1 保険適用)	共同 (ダイナボット・武田)	ヘリコバクター・ピロリ除菌の適応拡大として申請。 ランソプラゾールとアモキシシリンとの3剤併用。
申請中	TTC909 アルテオン注 (クリンプロスト)	末梢循環改善剤 (95年9月)	共同(帝人)	慢性動脈閉塞症(閉塞性血栓血管炎:バージャー病、閉塞性動脈硬化症)における皮膚潰瘍ならびに安静時疼痛の改善剤として申請。パルクスなどのPGE1製剤の無効例に対しても有効率が高い。98年3月第1回調査会。 現在追加比較臨床試験中。今年中に終了の見込み。
	ST-630 ホーネル錠 (ファレカルシトリオール)	慢性腎不全など (97年2月)	共同 (住友製薬)	活性型ビタミンD3誘導体。従来の活性型ビタミンD剤に比べ作用が強い。 適応症:慢性腎不全に伴う二次性副甲状腺機能亢進症等。2001年承認見込み。
	TS110 ロルカム錠 (ロルノキシカム)	抗炎症剤 (97年3月)	ニコメッド オーストリア社	非ステロイド性抗炎症剤。短時間作用で、鎮痛作用が強力。 適応症:慢性関節リウマチ、変形性関節症など。2000年承認見込み。
	クラリス	ヘリコバクター・ピロリ除菌 (99年8月)	共同 (アストラ・協和)	ヘリコバクター・ピロリ除菌の適応拡大として申請。アストラ社のオメプラゾールと協和発酵のアモキシシリンとの3剤併用。 現在、アストラ社で臨床試験実施中。
P	NE-100	精神分裂病	自社	シグマ受容体遮断作用が強力で選択的にも優れている。陰性症状の改善作用も期待される。海外(英国)を優先。英国でP-実施中、年内終了予定。

ステージ	開発番号/一般名/製品名	薬効/申請時期	自社・共同開発	製品特長他
P	ABT - 773	呼吸器感染症	共同(アボット)	耐性の肺炎球菌、インフルエンザ菌に強い抗菌力を有するケトライド系の抗生物質。国内においても海外データ利用のためのブリッジング試験を準備中。
	LDP - 977	喘息	共同 (ミレニウム)	気管支拡張作用と抗炎症作用を有する5-リポキシゲナーゼ阻害剤。欧州、アジアでの開発・販売権及び米国でのオプション権。
	INS - 1	型糖尿病及びPCOS(多嚢胞性卵巣症候群)	共同 (インスメッド)	糖利用、代謝促進作用を有するインスリン抵抗性改善剤。アジアでの開発・販売権。
P	抗CD23抗体	喘息	共同 (アイデック・生化学)	抗CD23抗体によるIgE産生抑制。欧州、アジアでの開発・販売権。
	NBI - 6024	型糖尿病	共同 (ニューロクライン)	インスリンの部分構造改変ペプチド。欧州、アジアでの開発・販売権及び米国でのオプション権。
	EPI - 2010	喘息	共同(エビジェネシス)	アデノシンA1受容体のアンチセンス。アジアでの開発・販売権。欧米は共同。

* 網掛け部分は海外での開発段階のもの。

(1) ロンドン支店の現状(設立 97年8月)

NE - 100のP - 試験を実施している。

(2) ニュージャージーオフィスの現状

近い将来、日米欧3極同時開発の米国拠点とするためにニューヨークに98年4月オフィスを開設した。今後は、日本における市場の大幅な拡大は見込めないことから、欧米における医薬品承認取得は必須となりつつある。このため、欧州に続き米国においてもそのための拠点をつくることにした。今年4月より、ニュージャージーへ移転すると共に人員を2名に増員し、米国における臨床試験の実施および承認取得のための種々の調査を実施中。

(3) 2000年5月時との変更点

開発中止したもの

MC I 225 (抗うつ剤)

三菱東京製薬で実施したP - の結果、有効性に用量相関性が認められなかった。

KE - 298 (抗リウマチ剤)

P の結果、対照薬に優位に勝る有効率が得られなかった。